

公表

## 事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	なごやかな森一橋		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 5日		令和8年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 5日		令和8年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団療育と個別療育を実施し、両側面から子どもをとらえ支援を行っている	モニタリングや個別支援計画作成の際には、小集団と個別それぞれの様子を共有したうえで支援内容の検討・策定を行っている	個別療育での取り組み内容や子どもの様子を、できるだけタイムリーに共有することを目指していく
2	法人内保育園に在籍している子どもが多く、子どもの様子や関わりの配慮点などについて、保育園と日頃から情報共有しやすい環境がある	モニタリングの時期に合わせて、在籍園と情報共有する機会を設けるほか、送迎の際に随時引き継ぎとして双方での様子を必要に応じて共有している	法人外の幼稚園・保育園に在籍している子どもについても、在籍園との情報共有を定期定期に行っていく
3	決まりやルールを多く設けず、十分に体を動かす時間を設けることで、安心して自己発揮することや活動参加・傾聴・待つことなど社会性の高まりがみられている	安心感に留意しながら、気持ちに寄り添い自己表現を引き出すことを心がけている。楽しい雰囲気大切にしながら、活動に取り組む意欲や見本・手順への注目、応じる力の伸長を目指している	4月から利用する子どももいて、事業所の活動への慣れ具合に個人差がある小集団活動となるため、より個々に合わせて意図を持った働きかけを行うことが必要になるとと思われる。職員間で打ち合わせながら、個々の状況を理解し個別的な関わりの実戦に努めていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援について、子どもの様子や関わり方についての情報共有や、家庭での関わりを共に考える機会が十分ではない	特に直接お会いする機会の少ない保護者とは、子どもの様子や関わりに関する情報共有を行う機会を持ちにくい	・連絡帳やチャットなどアプリで情報共有する際、家庭での様子を尋ねるなど双方向のやりとりを心がける ・定期面談のほか、いつでも相談や面談が行えることを折に触れ案内していく
2	保護者同士で子どもへの関わりについて意見交換する機会の提供がまだできていない	・開設後は、日々の支援を安定させていくことに注力してきた ・保護者会開催に際し、在籍保育園に託児の協力をいただく関係で、各保育園とのスケジュール調整が必要	早めに各保育園とのスケジュール調整を行い、計画的に保護者会を開催し、子どもへの関わり方や家庭での困りごとについて共に考える機会を設ける
3	非常時の対応について、保護者への情報提供が十分ではない	利用契約時に説明しているものの、情報提供が不足している	安全計画や非常時の対応マニュアルについて、アプリで常に確認できるよう配信する

## 公表 保護者等からの事業所評価の集計結果（児童発達支援）

事業所名	なごやかな森一橋
------	----------

公表日 令和 8年 3月 1日

利用児童数 令和 8年 2月 1日現在34名

回収数 27名 (79.4%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	1		1	・スペースを最大限工夫し、子どもたちがのびのび遊んでいると思いました	今後も十分なスペースを確保してまいります
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	26	1			・一人ひとりの性格、特徴まで把握できる良い人配置だと思えます	引き続き、子どもたちの心情にタイムリーに寄り添える人員配置を行ってまいります
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	2		4	・問題ないと思えます ・活動内容、タイムスケジュールを絵カードで掲示してあり配慮はあるが、特性に応じてわかりやすく構造化されているかどうかわかりません	引き続き、子どもに合わせて絵カードなどを使用しながら、段階的に一般的な環境に適應できるよう支援してまいります
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	1			・綺麗で明るい空間でした ・広さが十分で走れます。各々の活動がしやすい場所がありそうです	今後も活動内容に応じて環境設定を行ってまいります
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	2		5	・支援開始前にしっかりと時間をかけ、モニタリングや希望の聞き取りを行っていただきました ・週1で1時間くらい1対1で支援する時間を設けてくれるとのことでしたが実施されているか不明です ・専門支援の時間にどのようなことをしているのかが見えずらいです ・まだ見学に行けていないので「わからない」としました ・まずは通所を楽しめるようにする段階かと理解しています ・子どもへの理解はしてくれていると思うが、専門性のある支援とは何かはよくわかりません	・支援の内容や子どもの変化などについては、半年ごとの定期面談でお伝えしてまいります。日々の連絡帳でも支援内容がわかりやすよう、記載内容をブラッシュアップしていきます ・専門支援は1回30分間で、契約児全員が平等に行えるよう順番に実施しています。利用日数により頻度に差が生じることもあります。（月に1〜3回程度）支援内容や子どもの様子について、可能な限り連絡帳でお知らせしてまいります
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24	1		2	・各々のペースで取り組めるようになっていると思います	今後も支援プログラムに沿った支援の提供を行ってまいります
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	1			・意見をしっかりと反映してくださっています ・十分な聞き取りがあり、ニーズ・課題を的確に文章化し計画に反映していただきました	今後も子どもの様子や保護者のニーズの理解に努め、個別支援計画に反映させてまいります
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	1		2	・わかりやすく目標が設定されています	今後も、子どもの様子や保護者のニーズなどから支援内容を検討し、具体的な援助内容を記載してまいります
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	3		4	・本人のペースに合わせて支援をされていると感じます ・活動報告はいただいているが、課題に対する支援との関係がよくわかりません	今後は、支援内容をよりご理解いただけるよう、連絡帳に記載する内容を充実させてまいります
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	2			・毎週色々な設定あそびを行っていて、本人も楽しかったと話してくれます	今後は、より計画的に活動内容の検討を行い、魅力的な活動を展開してまいります
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	13	2	3	9	・子どもとではないですが、近所の方へクリスマスカードを渡しに行くのはステキだと思いました ・交流はよくわかりませんが、作品などを保育園の先生に話しているようです	利用児の大半が幼稚園・保育園に在籍しているため、事業としての交流は計画しておりません。在籍園の友達との関わりが広がるよう、気持ちの表現や相手の気持ちに目を向けるサポートを引き続き行ってまいります
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27				・不安なく支援を受けることができています	引き続き、利用開始の際には丁寧に説明してまいります
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27				・はい	引き続き、個別支援計画書を提示しながら支援内容をご説明してまいります

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	6	3	7	・研修会などはありませんが、いつでも見学は構わないとのことなので、情報収集の機会はあると思います ・実施予定ありと説明はあったが具体的なプログラムは未定	来年度は保護者の集まりを開催し、子どもへの関わりを考える機会や保護者間で懇談する機会を設けることを予定しております
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	24	3			・連絡帳のやりとりで行えています ・アプリの連絡帳はありがたいです ・直接送迎ができない場合は少し難しいと感じます	今後もアプリによる連絡帳や送迎時などに、様々な情報共有を行ってまいります
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	5	3	3	・まだ機会はありませんが、定期的な面談が実施予定です ・利用開始半年なのでどちらとも言えませんが、定期的にあると思います	引き続き半年ごとに面談を行ってまいります。ニーズに応じて任意面談も実施し、保護者の相談に応じてまいります
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27				・本人のペースで支援を受けられているようなので、そのような支援を受けていると思います ・子どもの特性を知ったうえで話してくれていると感じます	引き続き、子どもや保護者に対して共感的に支援を行ってまいります
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	5	7	11	・まだそのような機会はありませんが、ぜひ開催されればよいと思います ・保護者会が予定されていると入所時に説明を聞いたように思うが、まだ実施はされていません(2)	来年度は保護者の集まりを開催し、子どもへの関わりを共に考える機会や保護者間で懇談する機会を設けていきます
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	4		5	・相談等を行ったことがないので何とも言えませんが、もし相談したいことがきたらすぐにお話ができそうな雰囲気があり安心です ・周知されていると思うが、相談・申し入れはしたことがないので対応についてはわかりません	今後もいつでも相談ができることを周知しながら、相談等に対して迅速かつ丁寧に対応してまいります
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	1		2	・アプリや電話にて直接やり取りができるので安心です ・アプリ、電話、書面など、伝達手段が多様です	引き続き様々な伝達手段を活用しながら、意思疎通や情報伝達を丁寧にやってまいります
非常時等の対応	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21			6	・はい ・活動予定表をもらえているので十分と思います	今後もホームページやアプリを通じて情報発信してまいります
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25			2	・利用説明会の時に説明がしっかりあった印象です ・直接お渡しや受け取りができず、保育園経由になってしまうことのみ留意点です	在籍保育園にご協力いただきながら書類の受け渡しを行う状況もありますが、引き続き個人情報の扱いには十分留意してまいります
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	1	1	9	・説明書にありました ・訓練の有無についてはよくわかりません(2)	今後も各マニュアルの整備と保護者への周知、発生を想定したシュミレーションを行ってまいります
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	3	1	15	・説明書にありました ・訓練については不明です	今後も定期的に避難等の訓練を行ってまいります
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20			7	・不安なく通わせられます ・あまり意識しておらずわかりません	今後も安全を確保する計画の周知と安全を十分に確保した上での支援に努めてまいります
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	2		4	・小さなことしかまだ起きていませんが、しっかりとアプリで文章化してくださっています ・怪我があった時、状況説明を十分にいただいていると思います	今後も怪我の大小にかかわらず、迅速な連絡や適切な状況説明を行ってまいります
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	27				・先生に甘えられたりしているようで親も安心しています ・一度も休まず通っています	今後も利用するすべての子どもが安心感を持って通所できるよう努めてまいります
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25		1	1	・行かない日も「今日なごやか？」等聞いてきてもっと通いたいようです ・とても楽しみに通所しています ・自ら表現することが困難ですが、楽しんでいるように感じています	今後も利用するすべての子どもが通所を楽しみにできるよう努めてまいります
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	3			・楽しく通えていることが何よりです ・子どもにとってより良くなるよう考えてくださっているのが伝わってきます。本当にいつもありがとうございます ・とても満足しています。これからも継続したいです ・まだ4か月しか通ってないので満足という感じではありません	今後も一人ひとりに合わせた関わりを行い、楽しみながら成長発達していけるよう努めてまいります。保護者との情報共有を図りながら支援にご満足いただけるよう努めてまいります。

公表

## 事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名		なごやかな森一橋		公表日		令和 8年 3月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		家具を必要最小限にするなど、スペースを広く活用できるようにしています		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準人員に加え、専門的支援体制加算の人員を配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		活動スケジュールなどを絵カードでわかりやすく掲示しています。行うべきことに集中しやすいよう環境を整えています		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		活動がしやすいように、清潔で整理された空間となるよう努めています		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		小集団への不安や興奮が強いなど個別対応が必要な状況があれば、職員と共に個室で過ごすこともあります		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		日々の打ち合わせや振り返りなど、多職種の職員が参画し行っています		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者の意向を把握し、業務改善につなげています		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の打ち合わせや振り返りの際に、意見やアイデアを募り業務の工夫や改善につなげています		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	今年度は第三者による外部評価を実施していません	定期的に第三者による外部評価を実施予定です	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修を周知し参加を募ったり、事業所内研修の機会を設けています		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し、ホームページで公表し保護者にも周知しています		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		アセスメントを丁寧に行い、保護者ニーズを客観的に分析したうえで支援計画を作成しています		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		多職種の職員で共通認識のもと、支援内容を検討しています		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画の内容を全職員で共有し、計画に沿った支援を行っています		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		事業所独自のアセスメント票を活用し、こどもの状況を確認しています	今後、臨床心理士による標準化されたアセスメントも行ってまいります	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		こどもに応じて必要な項目を設定し、各項目に沿った具体的な支援内容を設定しています		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		多職種による活動プログラムの立案を行っています		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		こどもの様子に合わせて新たな内容を取り入れるなど、活動が固定化しないよう工夫しています	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動と集団活動の様子を総合的に見ながら、支援計画を作成し支援を行っています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前には、活動の内容や役割分担、こども個々への支援の留意点などを確認しています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後には、振り返りを行いこどもの様子や対応についてなど気づいた点を共有しています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援に関する記録をとり、支援の検証・改善につなげています	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っています	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		こどもの状況や今後の支援の展望を理解した者が対応しています	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じ連携を図ることができる体制を整えています	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		並行利用している機関と、見学や情報共有をしながら相互理解を図っています	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じ、支援内容の情報提供や相互理解を図っています	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターが主催する事業所連絡会に参加し、必要に応じて助言を受けることができる体制を整えています	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	幼稚園・保育園に在籍しているこどもが利用しているため、他機関との交流の予定はありません	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳のやりとりやお会いする機会に、こどもについての共通理解を図っています	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ご家庭での育児のご相談にも随時応じ、ご家庭での対応方法を共に考えています		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用開始前に、書面をもとに説明しています	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		個別支援計画作成時には、意向を確認する機会を設けています	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		計画を提示しながら説明を行い、同意を得ています	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期面談のほか随時相談に応じ、支援や助言を行っています	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	今年度は保護者が集まる機会を設けていません	次年度以降、保護者が集まる機会を設け、子どもへの関わりを考える場や懇談する場を設けていきます
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		随時相談に応じられることを周知し、相談時には迅速かつ適切に対応するよう努めています	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページやアプリを通じて必要な情報を発信しています	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いに十分留意しています	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		電話、アプリなど様々な手段を用いて、意思の疎通や情報伝達に配慮をしています	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		季節にちなんだ作品をお渡しするなど近隣住民との交流を行っています	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	各マニュアルを整備し、発生を想定したシミュレーションを行っています	保護者への周知を行ってまいります
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○	定期的に避難などの必要な訓練を行っています	訓練実施について、保護者にお知らせしていきます
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		利用開始前のアセスメント時に子どもの健康面に関する情報を確認しています	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーにより食事提供に配慮を要する場合は、昼食の持参をお願いしております	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、安全点検や必要な研修等を行い、安全管理を行っています	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		各マニュアルの整備、訓練の実施、避難経路・避難先等について、保護者に周知しています	保護者が随時確認できるようアプリに掲載します
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例を職員間で共有し、再発防止に向けた対策を検討・実施しています	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		事業所内外の研修参加、セルフチェックの実施などを行っています	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		該当する状況があれば組織的に判断し、定められた手順に沿って対応していきます		

公表

## 事業所における自己評価総括表（保育所等訪問支援）

○事業所名	なごやかな森一橋		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 5日		～ 令和 8年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 5日		～ 令和 8年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	令和 8年 1月 5日		～ 令和 8年 1月 30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当事業所の児童発達支援も併せて利用していることに関しては、小集団での様子を把握したうえで訪問先での対応について検討することができる	小集団の中で様々な関わりを通し、訪問支援に携わっていない職員も含め、こどもに必要な配慮や個別的関わりの方法などを検討するようにしている	個々に応じたより適切な関わりを提案できるよう、事業所内での支援の振返りを充実させていく
2	保育経験のある保育士、療育経験のある臨床心理士・児童発達管理責任者が訪問支援を行っている	訪問後には、訪問スタッフで振返りを行い、その後児童発達管理責任者と支援内容を共有し、保護者への報告内容や今後の訪問先へのアプローチについて検討している	訪問支援の経験を重ね、訪問支援の目的に沿ったより適切な対応を行えるよう、ガイドラインの定期的確認やスタッフ間での検討を行っていく
3	訪問先職員との関係構築やこどもの様子を継続的に把握していくことをねらい、毎回同じ職員2名が訪問支援を行っている	早めに訪問スケジュールを調整するようにし、事業所の状況で訪問が難しい状況があれば日程を変更し訪問できるようにしている	訪問支援を行える職員を増やし、臨機応変にスタッフ調整を行いながら支援日の変更がないようにしていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	開設初年度であるため、訪問支援の実戦経験をこれから重ねていく	在籍園と保護者との信頼関係が深まり、情報共有や相談が密に行えるようになることを目指した支援の在り方について、更なる研鑽が必要と考える	保護者や在籍園からの情報に対し、在籍園（保護者）は知っているのかを確認することや、保護者に伝えるのは当事業所と在籍園とどちらの方が適切かを検討することなど、一つひとつの情報の扱いについて慎重に検討していく
2	職員の勤務状況により、予定していた訪問支援日の変更を依頼することもある	事業所内の職員数が少ないことと、訪問する職員を園ごとにある程度固定し対応していることから、欠勤が生じると訪問することが難しい状況がある	職員の増員を検討し、訪問支援を行える職員を増やすことで、欠勤が生じても訪問支援を行える体制を目指す
3	利用児童が少ない状況がある	開設初年度で児童発達支援事業の安定を優先させていたこともあり、積極的なPR活動を行っていない	利用希望者獲得に向け、近隣幼稚園・保育園などにPR活動を行っていく

公表

保護者からの事業所評価の集計結果（保育所等訪問支援）

事業所名 なごやかな森一橋

公表日 令和 8年 3月 1日

利用児童数 令和 8年 2月 1日現在 1名

回収数 1名(100%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1					必要に応じて教具教材を整えてまいります
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	1					引き続き、プライバシーに配慮した面談室にて面談等を行ってまいります
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	1					今後も、事業の目的をわかりやすく丁寧に説明してまいります
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	1					今後も、保護者や訪問先と相談しながら訪問の頻度や時間を決定してまいります
適切な支援の提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	1					今後も、こどもの状態に応じた支援が提供できる体制を整えてまいります
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					引き続きこどもの様子や訪問先の意向を考慮したうえで関わりを検討してまいります
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					今後もこどもを理解し、保護者のニーズや課題の分析を行い、支援計画を作成してまいります
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	1					計画作成時に限らず、随時訪問先のニーズや意向を確認してまいります
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					引き続きガイドラインの内容を踏まえながら、支援内容を検討してまいります
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					今後も支援計画に沿った支援を行ってまいります
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	1					今後も、訪問先の方針や対応可能な範囲などを考慮しながら支援を行ってまいります
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					今後も契約時に、丁寧にわかりやすく説明してまいります
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					今後も支援開始前に、計画書を提示しながら支援内容を説明してまいります
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	1					今後も保護者のニーズに応じて関わりに関するご相談に応じていきます
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	1					今後も、訪問時の報告以外にも保護者と随時連絡を取り合い、共通認識を持てるよう努めてまいります
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					今後も定期的にこどもへの対応に関する情報共有や助言を行ってまいります
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					今後もこどもや保護者に共感的に支援を行ってまいります
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					今後もいつでも相談ができることを説明し、迅速かつ適切に対応してまいります
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					今後も意思疎通や情報伝達のために十分な配慮を行ってまいります
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	1					今後も、訪問先の相談に適切に応じ、必要な支援を行ってまいります

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	1					今後も訪問支援実施の際には、訪問先と十分な話し合いを行ってまいります
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	1					引き続き、訪問支援実施後には保護者に支援内容を報告してまいります
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1					今後もホームページやアプリを通じて必要な情報を発信してまいります
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					引き続き個人上の扱いには十分留意してまいります
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1					今後も、緊急時には訪問先と連携し対応してまいります
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					今後も安全計画の周知および安全を確保した上での支援の提供に努めてまいります
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	1					今後も訪問支援を楽しみに感じられるような支援の提供に努めてまいります
	28	事業所の支援に満足していますか。	1					保護者や訪問先に満足していただけるような支援の提供に努めてまいります

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

なごやかな森一橋

公表日 令和 8年 3月 1日

利用児童数 令和 8年 2月 1日現在 1名 回答数 1名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	1			とても丁寧に様子を見ていただき、園としても取り入れやすい助言をしていただいています	今後も園の状況に応じた関わり方のご提案を、わかりやすく具体的にお伝えしていきます
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1			対象児に対する理解や知識が豊富なため、園としても学びになっています	こどもの感じ方やより良いかわり方・望まれる配慮などを在籍園の先生方と共に考えてまいります
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	1			丁寧かつ適切に回答をいただきわかりやすいです	その場で回答できること、こどもの様子を見たり事業所内で検討したりしたのちに回答することなど、内容に応じて対応します
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1			一つひとつの課題や困りごとについて、新たな対応案を提示してくれています	引き続き、こども自身や在籍園の先生方の困りごとが軽減されるよう努めてまいります
5	事業所からの支援に満足していますか。	1			園での対応が難しいときなど、訪問支援スタッフが対応してくださったりと助かっています	随時ニーズを確認しながら、支援の充実を図っていききたいと思います
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	

公表

事業所における自己評価結果（保育所等訪問支援）

事業所名		なごやかな森一橋		公表日 令和 8年 3月 1日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制・運 備 営 ・体	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		訪問先の環境で支援を行うため、特に教材の使用はありません。今後特別な教材の使用が必要と思われる際は用意していきます	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		毎回2名の職員で訪問しています	職員の勤務状況により日程変更させていただくこともあり、申し訳なく感じています
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		こどもや訪問先への対応について、職員間で共有し今後の方向性を確認しています	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者にご理解・ご協力いただいています	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の打ち合わせで意見交換する場を設けています	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		開所初年度であり未実施ですが、今後受審予定です	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事業所内研修の実施や、外部研修の案内を行っています	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		様子観察、保護者ニーズの聞き取りを行い、支援計画を作成しています	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者、訪問支援員など支援に携わる職員全員で支援内容を検討しています	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		訪問先職員のニーズを聞き取り、支援計画を作成しています	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援に携わる職員全員で支援内容を共有し、訪問時のねらいの確認を行っています。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		保護者・訪問先職員への聞き取りと行動観察によるアセスメントを行っています。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインの内容を踏まえ、具体的な支援内容を記載しています	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画内容を共有し、計画に沿って支援を行っています	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前に、訪問先職員を交えて支援内容の確認を行っています	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後に訪問先職員を交えて振り返りを行い、その後事業所内での振り返りを行っています	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		アセスメントや訪問毎のカンファレンスの際に、訪問先職員の考えや対応法を確認しながら支援を行っています	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		支援後の振り返りを経て記録を作成し、今後の支援の方向性を確認しています	

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		訪問の都度、保護者と訪問先職員の意向を確認し、支援内容の見直しの必要性を検討しています	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		サービス担当者会議の開催はまだありませんが、相談支援事業所への情報提供は児童発達支援管理責任者が行っています	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		小平市の児童発達支援事業所連絡会への参加や、保育園、幼稚園などの情報共有を行っています	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		移行先機関に、こどもの様子や支援内容について情報提供しています	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		外部研修について周知し、小平市児童発達支援センターから助言を得られる状況にあります	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○	1	小平市の児童発達支援事業所連絡会に参加しています	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		訪問の日程調整の際にも、こどもの様子について共有することができています	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ご相談があればその都度対応を共に考えることを行っています	児童発達支援で行う保護者懇談会に参加できる機会を設けていきます
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用開始時に、契約書・利用のしおりなどで利用に関する内容を説明しています	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		利用開始時に、訪問先のニーズを確認するとともに支援の目的や方法について説明しています	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		アセスメントとして、訪問先でのこどもの様子を観察し保護者の意向を確認しています	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		支援開始前の支援会議にて、支援計画書をもとに支援内容を説明し同意を得ています	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		訪問支援の報告をする際に、保護者からの質問や相談の有無を確認し対応しています	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		今年度は実施していません	今後は児童発達支援で行う保護者会などに参加できる機会を設けていきます
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		定期的な支援会議のほか、支援ごとの報告連絡の際に質問や相談がないか確認するほか、いつでも相談に応じることができる旨をお伝えしています	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		児童発達支援事業所として毎月のおたよりを発行し、必要に応じてアプリを通じて情報発信をしています	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		在籍園や相談支援事業所と情報共有する際には保護者に承諾を得ています	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		こどもに合わせてわかりやすい声のかけ方、示し方を心がけ、保護者には電話やアプリなど複数の連絡ツールを設けています	
訪問先	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		訪問時だけでなく、日程調整やその他の連絡時にもこどもについて話ができる体制があります	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		訪問時には毎回カンファレンスで振り返りを行っています	

施設への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		訪問後には毎回支援内容を報告しています	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		保護者からの情報を訪問先に伝達してよいかを確認するなど、訪問先と連携を図る際にも情報の取り扱いには留意しています	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		訪問先職員の対応や考えを聞き尊重しながら、考えられる対応について助言を行っています	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを整備しています	保護者への周知は今後行っていきます。タイミングが合えば訪問先の訓練に参加します
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画の作成、毎月の安全点検、事業内研修を行っています	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例について要因と対策を検討し全職員で共有しています	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		事業所内研修やセルフチェックなどを定期定期に行っています	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束を行う事例はありませんが、必要に応じて支援計画に記載し組織的に対応していきます	